

小さな自治体・東堅町のまちづくり  
伝統文化の継承と発展「猿楽能と町衆」

東堅町自治会文化委員会 委員長 渡辺 昭

副委員長 達富弘之 ○

委員 中井隆

### 1.活動方針・目的

町内の活性化と潤いの基盤は文化活動と生活改善

A 伝統文化と行事の検証と継承は文化部門で企画と実践

B 高齢化社会に対応できる住みよい町づくりは環境部門で企画と実践

### 2.活動内容

A部門 小さな町に息吹く文化力の継承と発展 歴史の検証と発展を実践する

#### 1.地域に息吹く歴史と伝統・その文化力は大切な地域資源

検証と継承で地域資源の枯渇を防ぐことが大切。

節季・節目を忘れた現代社会への継承

便利さにとらわれ、代償の危険に目をつむる現代社会の見直し・もったいない文化の  
実践

#### 2.地域に残る伝統芸能『丹波猿楽能と庶民文化を考える』

### 3.他の活動団体の参考となる事例

過去3年間の『町誌』の作成でと気付いた地域資源の掘り起こしの大切さ

有史以前からの当地域の生活・その歴史と伝統は遺伝子として残っている

少ない資料の検証は夢を誘う 地域の広がりにも期待も広がる

眠れる地域資源(地域の伝統)が呼びかける

地域の文化力の向上は日常生活に活性と潤いをもたらす。

丹波猿楽能と町衆 町内とのかかわり

他団体との古流とコラボで活動の充実が図れる。

今やらねばならぬこと すたれ・失っていく伝統文化の記録

### 4.今後の課題等

一つのことに集中すると派生して見えてくる文化の広がりは無数の世界。立ち止ま  
らなければ活動は続く。集団の力量と体力を考え無理のない範囲での活動を組  
み立てることが大切。

オーバーワークの歯止めも必要。

1

**小さな自治体・東堅町のまちづくり  
伝統文化の継承と発展  
猿楽能と町衆  
東堅町自治会文化委員会**



発行者  
副委員長 遠富弘之



2



京都市亀岡市東堅町  
面積 約27200㎡  
戸数 76戸  
人口 173名  
(H25.12.1現在)

3

**自治会組織図**

**東堅町自治会**

- 町内の自治(良好な地域社会の維持及び形成に資することを目的とし各種情報提供と親睦連帯感を深める行事等。ホームページの運営)
- 東堅町自治会文化委員会**
  - 文化講座の取り組み**
    - ①文化講座(地域資源の掘り起こし)
    - ②文化講座(住みよい町づくり)
    - ③郊外講座・研修
    - ④関係諸団体との交流
  - 文化祭の取り組み**
    - ⑤文化祭の実施(地域文化力の向上)
    - ⑥燈籠の製作(猿楽能と山笠)

4

**文化委員会の基本理念と取り組み**

- 小さな地域のささやかな活動、地域内に存在する歴史的建造物、文化財、人脈を活用し、歴史に学び、未来を展望し、地域住民相互のコミュニケーションと連帯を保ち、望ましい共生環境を整える。
- 少子高齢の中、町内の活性化の為文化委員会を発展させ、町内の未来を展望する取組を実践する。文化講座の新たな展開(A)
- 町内に残る文化財の保存、活用に取り組む。
- 過去3年間の取り組みの継承・発展を図る。(B)

5

**町誌づくりの取り組みは伝統文化掘り起こしの宝庫**






6

**「猿楽能」と「田楽能」**

**神事能**

その発祥は五穀豊穡を祈る農耕の願いと無病息災を願う庶民文化に根差すものであったろう。

母体の違いによって、大衆を基盤とする物まね縁起を主流とする『猿楽能』と都人、貴族社会を基盤とする幽玄を目指した『田楽能』に分化していく。隆盛期の猿楽能は大和猿楽。近江猿楽、丹波猿楽、摂津猿楽、伊勢猿楽、越前猿楽など全国に広がっていたようです。やがて大和猿楽と近江猿楽が勢力を強め、さらに都の田楽能の要素を取り入れ大和猿楽が現代の能に収束していったようです。

大和4座の一つ「結崎座」の世阿弥・観阿弥のスーパースターの功績は周知の通りでしょう。

7

**神事能致候**

8

**『丹波猿楽能』発祥地 鍬山神社**

鍬山神社のある京都丹波、亀岡市矢田地域は丹波猿楽能、日本の古典芸能『能』の発祥地である。崇禎から江戸時代まで、当地域の矢田産は鹿皮を産め、京都の伏見の御香宮や上賀茂神社、大原などへ神事能の奉納あるいは指導に出向いている。京丹波地域にはほかにも幾つかの座があった様で、丹波梅若の痕跡は南丹市日吉町に残る。梅若家の菩提寺菩提寺の前にある横の礎石には能舞が描かれている。梅若の墓所は人里離れた木畑に当地の山間にひっそりと立つ。矢田地域には遺業も継承されており、歴史の深みを感じる。猿楽系の職家から分岐し種々の古典芸能が丹波地域に預けられている。亀岡域下町に残る山跡にも多大の影響を与えたようだ。鍬山神社はもみじの名所である。晩秋の丹波路散策には当地のもみじ鑑賞をお勧めする。

9

**鍬山神社に猿楽能のルーツが**

10

**鍬山神社に猿楽能のルーツが**

なのお社で行われていた神事能の一つに現在の能楽の源流の一つともなっている丹波猿楽能があり平安京はもとより長津・河内など各地に出向いて活躍していましたが天正4年（1576）明智光秀の丹波進攻の混乱により多く壊れたと言われています

11

**地域に残る神事能の痕跡**

古文書は語る  
馬路地域の猿楽能  
御香宮・大原への出前の記録  
点在する丹波梅若のゆかり

12

**第1回調査は南丹市日吉町  
丹波猿楽能 梅若家の墓所  
南丹市日吉町殿田**

13

丹波猿楽能 梅若家の菩提寺  
曹源寺 と 曹源寺橋欄干



南丹市日吉町殿田



14

丹波猿楽能 梅若家の墓碑  
南丹市日吉町生畑ヒヨ



15

綾部市大島にも梅若ゆかりが  
綾部市大島の福田神社境内にある  
梅の森神社（丹波梅若ゆかりの神社）



16

他団体の能楽講座1 <第3回> 亀岡祭り解体新書

- ・ <第3回> 亀岡祭り解体新書
- ・ 能楽から山・鉦の趣向を考える
- ・ 日時: 2013年5月19日(日) 午後2時～午後4時
- ・ 場所: 亀岡市役所1階市民ホール
- ・ 講演: 京都造形芸術大学歴史遺産学科 客員教授 五島邦治
- ・ 内容: 宝生流舞囃子「高砂」大本宝生会  
講演「亀岡と能・謡の文化」
- ・ 亀岡祭りの山鉦の風流のお話のほかにも、亀岡の矢田に本陣をおいたといわれる丹波猿楽や室町時代今日の町衆は、能、狂言、謡などを教養としてたしなみ、山や鉦の趣向にとりいれたことなどについてお話をいただきました。

17

他団体の能楽講座2  
能楽に親しむ会 10月2日亀岡文化交流協会

- ・ 辰巳満次郎さん(宝生流能楽師)
- ・ 能の動き・所作を知ると見方が変わる
- ・ 能楽の楽器とお雛様
- ・ 能面をつけて実体験
- ・ 船弁慶のデモンストレーション
- ・ お囃子で荒ぶる波間を表現する等
- ・ 大本本部春陽閣

18

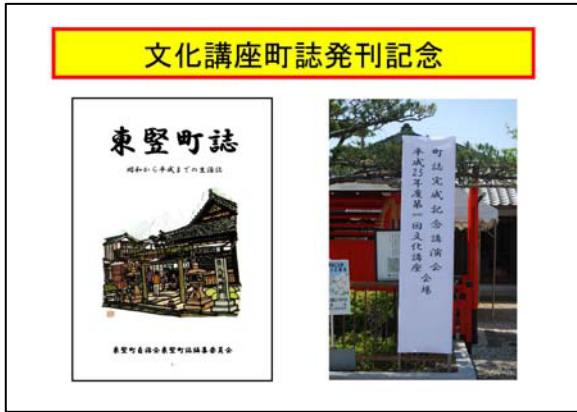


体験  
面付け



- ・ 実演
- ・ 船弁慶

19



20



21



22



23



24



25

文化祭に訪れたアグネッタ・フロックさん、ここでプレゼントされたモンペを今年のNHK番組で紹介するという



26

町内の婦人よりモンペとお手玉のプレゼントを受け取るアグネッタ



27

今年の明りは丹波猿楽能と山鉾



28

今年の明りは丹波猿楽能と山鉾



29

各町の能楽由来の山鉾一覧



30

城下町の山鉾一覧 11基



**大胆な推理**

- ニソの森
- 京都丹波を考える時、
- その文化圏は若狭・丹後まで広がる。
- 海の信仰・山の信仰
- 神事能・猿楽から繋がりが見えるのでは。

**今後の展開**

**神事能が大衆にどのように溶け込んだか**  
 神事能と地域の伝統芸能とのかかわりを調べる  
 丹波は伝統芸能の宝庫

- \* 犬甘野の御田、田原の御田、綾部の御田、など
- \* 和知や亀岡の人形浄瑠璃
- \* 日吉神社の馬掛け
- \* 京北町の矢代田楽

など、思わぬ展開が待っているかもしれない

**上矢田地区に残る猿楽の伝承 その背景を検証する**  
 丹波猿楽能「矢田座」の存在からスタートしたが、そのルーツの検証はなされていない。猿楽に考察の糸口があると考え。

**神事能と地域の伝統芸能とのかかわり①**

犬甘野の御田  
 日吉町・綾部の御田も共通する

出雲風流花踊り  
 類似点が多いが出雲風流は丹波猿楽、田山は大和猿楽の影響があると考え

南山城 田山花踊り

**神事能と地域の伝統芸能とのかかわり③**

日吉の馬掛け

**神事能と地域の伝統芸能とのかかわり②**

地域に残る人形浄瑠璃  
 和知の人形浄瑠璃

佐伯灯籠

31



32

上矢田地区の雅楽 鍬山神社例祭奉納

鍬山神社例祭には雅楽奉納がある  
しかし  
そのルーツと伝承は謎に包まれている  
猿楽能以前に元始があるのでは?

五楽人 と 五人囃子

33

ホームページ運営で情報の発信

東堅町自治会・文化委員会 ホームページ

<http://higabun.web.fc2.com/>

34

ご静聴ありがとうございました

東堅町誌

東堅町自治会文化委員会  
伝統文化部会